



MONTHLY

# かわせみ通信

12月号

2023年12月

Vol.172

発行所



株式会社 東海テクノ 本社/三重県四日市市午起2丁目4番18号(〒510-0023)

TEL.059-332-5122(代) https://www.tokai-techno.co.jp

## 未来を拓く 企業訪問

SDGsの国際目標 2030年まであと7年。地球の持続可能性は企業としても取り組まざるを得ない目標となってきました。企業責任というだけでなく、企業価値向上など、その方向性は多岐に渡ります。当社がお取引いただいている企業様の表からは見えてこない独自の取り組みについて、インタビューした内容をご紹介します。取り組み事例をお届けいたします。

### 銀峯陶器株式会社

代表取締役 熊本 哲弥 様

萬古陶磁器工業共同組合理事長  
日本陶磁器工業共同組合連合会副理事長



#### ◆主な事業内容

銀峯陶器(株)は1932年4月(昭和7年)、三重県四日市市にて地場産業となった萬古焼の窯元として創業。2代目が現代日本のスタンダードとなっている土鍋(花三島)を開発。3代目の熊本哲弥社長は明文化して技術を継承するシステムを構築し、ISO9001を取得。定番商品を守りつつ時代に合わせた調理器具としての土鍋を開発している。

### 萬古業界の近年の動向・萬古焼の強み



陶祖・沼波弄山(ぬなみろうざん)の生誕300年(2018年)から20年後の開窯300年(2038年)までの間を「BANKO300th」として、萬古焼の伝統を未来へ受け継いでいくための各種事業を展開・発信している。小学生にも分かり易いようにばんこの里会館の展示方法を変更し、陶芸体験や萬古焼と四日市の食材(水沢茶・米・大矢知素麺等)を使ったお料理講座なども実施して好評を得ていたが、新型コロナウイルスの影響によりここ2年程開催ができずにいる。緊急事態の収束を期に、ナイトクルーズや地元の飲食店とのコラボレーション等のイベント開催も含め盛り上げていきたい。



2~3月に製造された土鍋を8月まで問屋が在庫として保管し販売するという萬古焼特有の販売システムが確立されており、これは国産土鍋の80%のシェアを誇る萬古焼だからこそできる方法で、他産地の問屋には出来ない強み。しかも萬古焼は土や模様の縛りが無いので、時代に合うものを作れる利点もある。クリエイターは作った作品をネット等で販売したり、近年では作品も売り方も多彩になっている。

### ペタライトの問題

ペタライトを土に40~50%混ぜることで空焚きや直火にも強い耐熱性・耐久性の高い商品が作れるようになったことが全国シェアを押し上げた要因である。EV普及のあおりを受けて中国の影響もあり、調達難となっており、様々な働きかけを行い市・県・国にも協力を要請している。ただ、この事態を乗り越えれば、他産地との更なる差別化ができる。萬古焼にはペタライトを使っただけの60年間蓄積されたノウハウがある。数年はかかるだろうが代替原料等への適応等、チャンスと捉えて乗り越えたい。

### インタビューの感想

萬古焼の土鍋で炊くご飯がとても美味しいとの評判を聞き、地場産業としての萬古焼の現状をお聞きしたいと取材を企画した矢先にペタライトの調達難がニュースとなりました。「苦境であることは事実だが、経験を活かしチャンスと考える乗り越えたい」という前向きなお話を聞き、そのリーダーシップに感銘を受けました。我々が協力出来ることはほとんどないことが残念ではありますが、同じ四日市を地盤に生計を立てている者として、陰ながら応援をしたいと思いました。



教えて！  
かわせみ先生

### 最近ホームページで求められる「Cookie」同意するべき？

なぜ急に「Cookie」の同意が求められるようになったかという、改正電気通信法が2023年6月に施行された、この「Cookie」に関する規制が強化されたんだ。ウェブサイトやアプリは、ユーザーに「Cookie」の使用に明確な同意を求め、サイトに提供される情報について、目的や情報の種類を説明しなければならなくなった。個人情報と結びつく場合は、個人情報保護法が適用されるから、ユーザーは同意を撤回し、「Cookie」の削除をする権利があるよ。プライバシー保護と透明性向上が目的なので、ウェブサイトがこれらの要件を守っているということを公表していると読み取れ、信頼性が高い企業のサイトでは、安心して同意してよいと言えるけど、不明確な場合や信頼性の低いサイトでは、慎重な検討が必要だよ。



### 測ってみよう! 探検隊 Vol.83

#### 液体消臭製品の使用方法にみる適量やいかに？

世の中には様々な消臭剤が流通していますが、メーカーラベルの使用法にみる適量は、臭いの質や強度によって変わるものの、実際に視える化して見てみたい!と測ってみました。弊社が取り扱っている消臭剤「クリンスメル」を例に、アンモニアを対象に噴霧量と成分の減少量を測ってみました。結果、ラベルにある噴霧量が適切であることが確認できました。



### 社員プチコラム

後藤 野絵 (環境事業部 業務管理Gr)

ディズニーシーで人気のアトラクション「タートル・トーク」をご存知でしょうか。ファインディング・ニモに登場するウミガメのクラッシュとお話できるアトラクションです。上手にゲストをいじって会場を爆笑で沸かせたり、テンポの良いアドリブを入れつつリアルタイムでゲストの質問に答えるトークスキルに毎回惚れ惚れします。中の人にはどんなマニュアルや研修があるのだろう...と夢の国には似つかない事を考えてみたり。前回訪れた際、初めてクラッシュと話せたのが私の一番楽しい思い出なのですが、娘はトイストーリーマニアが一番だったそうです。



### 編集後記

一部のお客様はお気づきかもしれませんが、10月より社内体制が変わり、部署名等が変更となっております。よりお客様のご要望にお答えできるよう、「BE INNOVATIVE」を進めていく所存です。今年も1年大変お世話になりました。よい新年をお迎えください。(みっちー)

